

江見清風 （敬称） 神道學者。慶應四年五月十一日越後國生れ、昭和十
 四年一月十一日没（一八六一一九）。幼名千代松。父は金子豊雄、明治
 二十二年江見長昌の養嗣子となる。二十七年國學院選科卒。爾來彌彦
 神社宮司、神宮禰宜を務め、また古事類苑編纂所理事、大神宮史編修
 を命ぜらる。この間、かん實兄金子長吉を儀し、「上宮聖徳法王帝説新註」
 （明治三十四年九月五日吉川半七刊）を處女出版。他に「水鏡詳解」
 （明治三十六年刊）、金子元任共著「和漢朗詠集新釋」（明治四十年
 刊）を著はす。その後と八坂神社宮司、明治神宮權宮司、春日神社宮
 司を歴任。
 遺著、「五部書神道の祖述者及び其の神道説」、出口延佳神主の事
 蹟と學説」、「唯一神道論」等を収め、「神道説苑」（増訂版・昭和
 十八年四月）二十五日明治書院）がある。

